

NPO 京都コミュニティ放送
第78回番組審議会 議事録

開催日時：2013年9月20日（金）16：30～18：00

会場：京都市中京区四条烏丸 烏丸ビル2F Flag 三条

出席委員：野池雅人 市古和弘 山本時子 福井秀彦

欠席委員：中村正 丸橋泰子 津田正夫 ジェフ・バーグラント 井上恭宏

局側委員：隅井孝雄 時岡浩二 町田寿二 （順不動敬称略）

ゲスト：武末千智さん（「介ドルさん、おいでやす」番組オーナー）

審議番組：「介ドルさん、おいでやす」（毎週日曜日 18：00～18：06）

この番組では、福祉介護で働く方、福祉介護業界で働くことを目標にがんばる方、その名も“介ドルさん”をゲストにトークを展開します。

最初に番組の趣旨について説明があった。

2013年8月18日／9月8日放送番組を試聴し審議に入った。

審議委員からのコメントなど（要約）：

- ・全体が6分で番組紹介やゲスト紹介で数分がかかっているので本編が短くなっている。
- ・ゲスト紹介は司会者が行う、トーク内容はポイントを絞るなど時間を節約してはどうか。
- ・テーマ曲の使い方や時間が節約できる。サビ部分のみやエンディングのみで使用するなど。
- ・日曜日18時台の放送時間の想定リスナーはどんなイメージが持つておくほうが良い。
- ・司会者は時間節約の為、ゲストの応答をなぞらないように注意したほうが良い。
- ・テーマ曲は特徴があり良い曲なのでうまく使うと効果的。番組内でも紹介するほうが良い。
- ・テーマ曲を聴くだけの回があっても良い。
- ・介護／福祉用語はリスナーには難しくないか、多少の説明が必要。例) 利用者、デイサービス
- ・介護／福祉用語を説明する回を設けても良い。
- ・武末さんのお仕事は特別養護老人ホームの広報で、ラジオカフェから情報発信することで、ラジオカフェを通して、介護の世界を京都に広く知ってもらっている。

以上で審議を終了した。

2013年11月18日（月）13:15から「番組審議会だより」として放送した。

この審議会の議事録は11月18日（月）から事務所に据置き閲覧できるようにした。